

令和 8 年度 第 1 回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和 8 年 7 月 8 日(水)午前 10 時～11 時 10 分

○開催会場 江南市役所 第 2 会議室

○開会あいさつ

市長 皆さんおはようございます。私が市長就任して平成 27 年から毎年 3 回くらいは市民の皆さん方の意見を聞きたいということで、タウンミーティングを開いております。これまでも、中学生や大学生、二十歳の集いの皆さん方、また町内会やボランティア活動してみえる方々、そうしたいろんな団体の方とこうして親密にお話ができる場ということで進めております。日頃より図書館の運営に当たりまして、またお手伝いをさせていただいておりますことに本当に感謝を申し上げます。非常に評判の良い図書館でありまして、皆さん方も働きがいがあるかと思えますけれども、今日は限られた時間でありまして、ご意見を聞き、そして今後の市政運営に生かしていきたいなと思っております。それではよろしくお願いいたします。

○出席者と市長の意見交換

市長 まずは自己紹介を簡単にさせていただきながら、江南市の図書館のいいところ、さらに良くしていくためのご意見等いただければ嬉しく思っております。

出席者① 今日は本当に江南ライブラリーサポーターズにこういう場を与えていただきありがとうございます。新しい図書館になって 3 年ちょっと経ちますが、今、いろんな人達が図書館に来てみえます。来館者もぐっと増えましたし、駅のすぐ近くですので、非常にいい条件で沿線の方達、あと学生さん達、市内じゃない学生さん達も、テスト週間とかは帰りに寄って勉強して帰るとか、そういう場として若い人達も結構利用されるようになって、図書カードの登録者はずっと増えております。本当にいい図書館ができたなど、市民として喜んでいます。今の図書館はできて 3 年ちょっとですけど、前の石枕の図書館ができてから、今年でちょうど 50 年にあたります。ライブラリーサポーターズとしては、前の石枕の図書館のときにボランティア協議会というのがありまして、それから考えてサポーターズも 15 年になるんです。そこで、サポーター同士が協力し合って何か企画をしようと、今考えています。1 つは 50 年の手づくりの本を 1 冊作ろうと、まだ今これから作る所なんですけど、江南市には手づくり絵本を作る方がみえるので、彼女もサポーターズに入っているんで、彼女を含めてその本を作り上げていって、50 周年にあたってみんなが思うことを貼ったり、今までの図書館とかの写真も入れたりして作ろうという企画があります。できたら最初に市長さんにお見せいたします。それからあと今年も 7 月に図書館まつりがあるんですけど、そこに 50 周年の木を用意して、みんなの思いを付箋に書いて貼っていこうと、なかなか図書館が 50 周年ということは知られていないので、もしできましたら、市の方でも図書館 50 周年を応援していただけるとありがたいなと思います。いろんなところで広報をしていただけるといいなと思っております。今年は移動図書館もお披露目をしたいので、そういう機会に 50 周年、サポーターズ 15 年、そういうところで何かちょっと援助していただけるとありがたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

出席者② 子供向けのお話、お楽しみ会をやっているみなみこぞう、大人向けの絵本の読み聞かせグループほっこりんもやっております。新しい図書館になりまして、大勢の市民の

皆さん、そして市外の方もいっぱい足を運んでいただいている、活気づいていていいなと感じています。大人の方がゆっくり過ごして本を読んだり調べものをしたり、学生の方が学習室で勉強したり、すごいなと感じているんですね。ただ、子供コーナー、児童書コーナーの方を見ますと、本は綺麗に並んでいていいなと思うんですけども、何かちょっともうひと工夫欲しいなって、他の図書館を見に行くと感じていまして、例えば大きな絵本に出てくるキャラクターのぬいぐるみが置いてあったり、あと絵が貼ってあったり、このコーナーにはこんな人の本があるよっていう何かそういった工夫とか、ちっちゃい子が飽きてしまわないような知育遊びのような物が置いてあったりすると、もっと子供達が活気づいて楽しく図書館を利用できるんじゃないかなって考えてるんですね。やっぱりこれからの江南を作っていくのは子供達ですよ。子供達が来て楽しい、これからも図書館を利用したいって思えるような図書館にしていっていただきたい、一緒にしていきたいと感じています。あと大人コーナーの方を見ますと、本棚の空いてるところがまだいっぱいあるんですね。15年間で30万冊を目標として建てられた図書館ですけど、今年、図書整備費が昨年度より600万円削減されて、とても予算が減ってしまいました。今年は移動図書館が500冊の本を乗せて走るということで、結構予算かかるんじゃないかなって思ってるんですが、やっぱり30万冊の目標を最初の計画で立ててあるので、ぜひそれに向けて、予算を元通りに戻して欲しいなって願っています。大人向けの講座やワークショップもいっぱいあるんですね。市民の方だけではなくて、市役所の方にも図書館に来ていただいて、図書館のことを知って、予算つけてもいいなって思えるようにしていただきたいなと思っています。ぜひ市長にもこれからも図書館に遊びに来ていただきたいです。まずは図書館まつり7月25、26日、それにぜひ来ていただきたいなと思っています。よろしくをお願いします。

出席者③ 江南ブッククラブを主催しております。よろしくお願いします。実は私江南市民じゃないんです。20年ぐらい前まで江南市に住んでいて、そのときに石枕の図書館を利用して、あそこの図書館がとても好きで、一宮にも立派な図書館があるんですけど、どうしても江南の図書館が好きで利用させていただいてます。私達のクラブには市外の参加者がすごく多いんですね。皆さんも本当に江南の図書館は素敵な図書館だって、電車で来るととても便利だっておっしゃるんですが、車で来ると皆さん道に迷ってしまう。古いナビだと石枕に案内されて保育園だったみたいな話で、名草線の通りに道路標識も無いんですよ。よくありますよね、市役所とか駅とか、そういう標識が無いものですから、みんな通り過ぎちゃう。なのでそういう案内があったらもっといいなって思ってます。その案内に絡んで言えば、図書館の館内の案内もちょっと不親切かなと思うんですよ。図書館3、4階って書いてあるので、皆さん4階からも入れると思って、その案内ももうちょっとわかりやすいといいかなって思ってます。あと、私、図書館の活動以外にも愛知県の介護サポートセンターに登録して活動してるんですけど、高齢者がもっと元気に健康で、介護費用をあんまり使わないためにも、図書館を利用して、出かける、人と話す、そういうことを、せっかく素敵な図書館があるんですから、できたらいいなと思うんです。今は、お子様達はお子様コーナー、そして高齢者の方達は新聞コーナーで別れて過ごしてますけど、その中間みたいなところで高齢者と子供達が交流できる場所があって、多少声出してもいいよみたいな、そういう交流できて、子供達も学べる、高齢者の方は元気に生きがいみたいなものを見つけ出せるような、そんな場所が提供できるようになったら素敵だなって、デイサービスを利用するようになる、当然介護費用がかかるわけですけど市としても、でも実際にはその前の段階の人達が行く場所が無いんですよ。だったら、図書館に来て楽しもうよって思うんです。子供達もちろん大事ですけど、私達全員年取るわけですから、みんな高齢者になるわけですから、そして介護費用をなるべく削減するためにも、図書館を利用できたらいいなと思っています。

出席者④ 読み聞かせグループのよみっこクラブです。よろしくお願いします。私達よみっこクラブは、今年で 10 年になります。初めは、シニアシルバーのための読み聞かせボランティア養成講座の受講生で立ち上げたグループです。子育てが済んで孫のお守りをするようになったときに、絵本や紙芝居の読み聞かせをする立場になって、そういう楽しみ方をして欲しいなっていうことで、講座をしていただきました。その受講生が 10 人、今入って活動しています。ただ、もともとシニアシルバーのためのっていう冠がついておりますので、10 年経ったら当然みんなおばあさんになっていきまして、いつまで図書館に来れるかしら、いつまでできるかしらという話題が出てくるようになりました。それは、気力とか体力とは別に、今世の中は高齢者に免許証を返しなさいというふうになっています。車の免許証を返したら図書館に来る足がない。だから返したいけど返せないっていう話題が最近頻繁に出てきています。何となく不安でできたらもう運転したくないなと思っている人、病気になって運転ができなくなっちゃった人、私もそうですが、誰かに助けてもらわなきゃならないですね。いこまい CAR はあります。でも事前登録して予約をしなければなりません。年金生活でこの物価高の状況の中で、そういうタクシーは言ってみれば贅沢品です。もっと気軽にここまで来れる足が欲しいです。というやっぱりコミュニティバス、市内循環バスをぜひ走らせて欲しいなと思うんです。誰でもいつでも気兼ねなく低料金で利用できる、そういうバスが江南駅と布袋駅の間とか、江南厚生とか、ユーストアとかピアゴとか、西アピとかその辺をこう回ってくれて、市役所もそうですし、支所もそうですよね。そういうところに行ける足があれば、みんな免許証、安心して返納できるんじゃないかなと思うんです。だから本当はみんな返したいんですけど、でも返したら、足がないからどこも行けなくなっちゃう。ここはぜひ設備投資をしていただいて、第 1 希望はやっぱり市内循環バス、コミュニティバスを走らせて、誰でもそうですね、200 円か 300 円でもいいと思うんで、一定の料金でチケット制にして、乗れたらいいんじゃないかなと思うんです。第 2 希望として、もし無理ならば、例えばスイミングスクールとか、自動車学校とかデイケアの車とか、そういう送迎バスがありますよね。それを利用させてもらって、空いてる時間にドライバーさん込みでお借りして、この時間はコミュニティバスだよ、とやってみたらどうでしょうか。1 時間に 1 本か 2 本あればそれで結構使えると思いますし、例えば高齢者だけじゃなくて、病気で運転ができなくなった人とか、あと不登校の子供達を西庁舎にお母さんが連れていくそうなんですけど、お母さんも仕事がある、子供はできたら YOU・輝に行きたいなと思ってるけど足がない、遠くて自転車で行くにも行けない、雨が降ったら行けない、そういう子供達もコミュニティバスに乗れば、YOU・輝まで来れるんじゃないかというアイデアも聞いたんです。そうすれば、子供達がそういうところに行って自分の居場所が作れる。ですから、誰でも低料金で利用できるバスが走ってくれたらなと思うんです。足を作ってくださいということをお願いしたいです。

出席者⑤ 今日ね、ありがたいなと思って、こういうタウンミーティングってのはいいなあ、先ほど一番に思いました。私は、いろんなことやってるんで、ここへ集まった人全部私ね、会ってるんだなあと思って、ただ、みんな女の方で、男は何で来ないんだろうかなんて考えると、男は働き盛りで一生懸命給料もらって、生活してるんだよね。終わっちゃうともうやること無くなっちゃってね、先ほど高齢者のデイケアの話で、その前をどうするかみたいなことおっしゃったんで、いやそうだよなんて思ったりして、やっぱり私何言うかわかんないので結論だけ言いますと、無料で老若男女が集いあったり、ワハハと笑い合えるような場をつくっていただきたいなと思ひまして、この間も日曜日に、雨だったから交流センターの 1、2、3 の部屋をぶち抜いて盆踊りやって、僕は久々に見てね。見てるだけで楽しくて時間が過ぎていってしまいました。あとね、駐輪場はここもそうで高いところと低いところありますね。図書館の前の駐輪場、その日に行ったら、低いところは全部うまっちゃって残るは高いとこだけ、高いとこに入れるのは難しいんですよ。そしたらね、高校生の女の子が「手伝いましょうか」て自転車入れてくれた。「サンキュー」て、

その女の子とコミュニケーションができたことは、ものすごく嬉しかった。この間も男の子なんだけど、あそこいろいろテーブルがあるんですよ。弁当食べてたら「美味しそうだな、おじさん」、それで「うまいよ」て、「何やってんの？」て聞いたら「テスト勉強」て。ああいうのでも高校生とコミュニケーションできたっていうことがね、ものすごく僕にとっては嬉しい。だから、そういう老若男女の交流の場をただで作っていただきたいなと。今日もミーティングっていうのはいいなと思いました。

出席者⑥ ABC 英語おはなし隊、令和 8 年の 4 月に立ち上げた新しい団体で、英語の絵本を読む団体です。もともとは江南グレイス幼稚園でボランティアとして、ママ達と一緒に園児さん達に英語の絵本に触れて欲しいという思いから始めました。令和 7 年に、現役と OB のママ達を集って園児さんの前で読ませてもらって、現在も続けさせていただいて、園児さんが卒園したときにも、もっと聞かせてあげたいなと、どこか読んだりできる場所が欲しいなと、作らせていただきました。現在はメンバーが 6 名いまして、グレイスのメンバー、その他にも市外から来ていらっしゃる方もいます。私が英語の絵本を読みたいと思ったきっかけは、私自身がカナダに住んでいまして、2 年前にこちらに戻って来たんですね。私は生まれも育ちも江南市で、20 歳過ぎるまでは江南市で暮らしていました。こちらに戻ってきてとても感じたのが、外国人とこちらの江南市との中でのコミュニティのギャップ、言葉の壁も含めですが、そういうのも感じました。幼稚園に在籍してるときも、外国人のママ達もいる中で、コミュニケーションを園と外国人ママが取るのが大変だったっていうのも感じて、何かかけ橋になるものをもっと思っていました。そして英語の絵本が園に恩返しできるツールだなと思って、外国人のママ達も喜んでもらえるかなとか、まだできてないんですけど、参加してもらって一緒に読んだりっていうのを、ふくらの家の方達もしていると思うんですが、そういうのをしていきたいなっていう思いが 1 つです。もう 1 つは、2 年前に戻ってきて、図書館すごい綺麗になったなと思って、便利のいいところで素敵になって、図書館の児童ブックのところに行ったんですね。絵本を探したときに、英語の外国語という部分ではすごく少なかったです。英語の絵本は、他の図書館と比べても断然少ないと思っています。私達としては、ペーパーブックでもいいから、英語の絵本を増やして欲しいという思いですね。もっと子供達に触れさせていきたいし、もっと読んでもらいたいっていうのがまず 1 つと、あと私が図書館の外国語のセクション見てたんですね、小さいお子さんが歩いてきて、外国語とかわからないから手に取るんですよ。手に取って「ママこれ読んで」、ママが「それ英語だから読まれへんわ」て、それがすごく心苦しくて。お子さんは、多分、英語でも日本語でも読んでもらったら嬉しいところを、この言語の壁が難しいって感じてらっしゃるお母様方とか親御さん達もたくさんいらっしゃる、その壁を下げるというか、そんなことないんだよ、英語の本って簡単な絵本とかもたくさんあるし、別に完璧じゃなくていいから発音とか言葉も、ただお母さんとかお父さんから読んでもらうのが嬉しいんだよって、こういう活動を通して伝えられたらいいなと思っています。なので、英語の絵本を増やしていただけると、小学校で導入されたとはいえ、まだまだ触れる機会が少ないと思っていて、じゃあ他でどこで英語に触れさせる機会が先ほどおっしゃったみたいに、無料で楽しくできる、老若男女触れさせる機会というところで、私達がもっと機会を増やしていけたらいいなと、ママ達にとどまらず読める人が読んでいって、お子さん達に英語の絵本に触れてもらえるような機会ができるっていいなって考えています。もう 1 つありまして、先ほどのコミュニティバスの件ですね、私達メンバーの中でも図書館に子供達を自分達で行かせたいけど、場所的に宮田の方とか自分達で自転車で行かせるにも遠いし、だけど送り迎えはちょっと難しいっていう中で、お子さん達にも、コミュニティバスとかスクールバスを採用する提案は素晴らしいと思ったので、私もこのポイントについてもぜひ市長さんをお願いできたらなと思っています。

市長 ありがとうございます。ものすごく参考になりました。それぞれの立場でご意見の

発表がありました。1つ1つコメントすると、時間がなくなってしまいますけど、答えられる部分だけやろうと思っております。まず、50周年、サポーターズとしても15年ということで、これはぜひやりましょう。大々的にそれこそ皆さん方の結集した力でもってやれなくはないと思いますし、図書館まつりのときにうまくできるのかなと思うんですけども。何かアイデアがあれば広報すること自体はSNS使ったり、なかなか貼り出したりとかは難しいかもしれませんが、時間的にはもう限られてますので、アイデアあったらいただきたいなと思っております。非常にありがたい話だと思います。手づくりの本をやっていただくのも、やはりありがたい話であります。PRをどんどんやっていきたいと思っております。予算的な話が出ましたけれども、本当に財政厳しい状況で、何が悪いというわけではないんですけども、諸人件費が上がったり、物価が高騰したり、働き方改革が入ってきたりということで、お医者さんとかね、医療の働き方改革が入ってくることを思ってもいなかったし、土木建築業でも、場合によっては週7日働いていた方達のところでも2日お休みをくださいとか、7日でやってたものを5日でやらなきゃいけなくなってくる。期間が延びる。期間が延びれば財政がさらに圧迫してくる。そのような状況になってきて、それから江南市の公共施設が一斉に古くなってきました。学校の統廃合も今始めています。藤里小学校と宮田小学校をターゲットにしてやっていきます。保育園につきましてはもうすでに中央保育園とあずま保育園を統合して前の図書館のところに民間の保育園ができました。さらに藤里保育園と宮田東保育園も一緒にして、現在の藤里小学校のところに新しい保育園を作ってまいります。そういったようなことで、体育館から始まり、図書館ができて、それからじいろ会館ができて、さらに他にもありますけどね、ウィステリアプラザができます。交流という話ができましたけども、ここでも交流という面では盛んにやっていきたいと思えます。あそこもお金がかからないところで、高齢者関係の施設と子供の児童館と、それから外国人が集う施設になっています。今月25日に開館オープン式の式典やって、8月1日から供用開始になりますので、このスペースを使って大いに、もう安くタダで交流ができるっていうようなことは、後は何をやるかとかね。ぜひこちらの方でも皆さん方図書館に限らず出向いて行って、外国人の方いっぱい国際交流協会も来ますので、いいチャンスだと思っておりますよ。子供達にいいお話をいただいたのは、お母さんに読んで欲しいんだっていう家族の中のコミュニケーションがすごく大事で、フリースクールの話もありましたけども。親子で参加する機会っていうのが本当に大事だなと思ってます。そういう場所が必要でこの広がりというものが、やがて学校へ戻る機会があったならば生きてくるはずだし、友達との交流とかそういうものも、すごく大切なものになってくるなと思って今見させていただいておりますけども、そういったことの大切さ、親子関係が希薄になってくることは避けなくてはいけないので、先ほど盆踊りの話もありましたけどもね、市としても民踊連盟の方たちを呼んで盆踊りの練習やるんですよ。こないだもKTXの体育館でやってましたけど、それが各地に戻って行って夏祭りが開かれて、そこには日頃見ない子供達、中学生、高校生、大人、おじいちゃんおばあちゃんがこぞって来て自分達で屋台を作ったり、交流をしたりして楽しんでる。こないだも防災訓練があったんですけど、子供達や中学生に来て欲しいからということで、県にお願いしてカタカタと動く起震車、なまず号をよんで長蛇の列ができてたりとか、そういうような交流っていうのはものすごく今大切なことだと思っております。いい提案をいただきましたので、せっかくある図書館をこれ絶対生かしていかなくちゃいけないっていうのが、今の交流という意味だと思っております。人口は減ってきております。しかしながら、世帯数は増えていて核家族化してるので、今まで同居していたおじいちゃんおばあちゃんがいなくなって、少しこうしたコミュニケーションが壊れてきて、町内会に入らない方々も増えてきたりとか、子供会にも入らないとか、とうとう老人会にも入らなくなってくる時代というのはすごく気になります。何が気になるかといったら、大きな震災で助け合わなきゃいけないときにみんなバラバラになっちゃうんです。東北の震災であったり熊本の大雨のときであったり、倉敷でしたかね、やはり地域コミュニティがしっかりしたところについては、

亡くなられる方も本当に少なかったり、中にはゼロというところもあったり、共同で意識をするというのができてるんです。日頃のおつき合い、コミュニティ、だから面倒なこともあるかもしれませんが、おつき合いのために悪いことはないですよって、入ってくださいよってことを今市でもやっています。そういう時代に今なってきました。あとは、案内がわかりにくいという件については、これは確かにどこにも図書館という看板はないような気がしますよね。これは大切なことなのでぜひやれるところにはやっていきたいなと思っています。それから、エレベーターの方の案内についてはできるだけ貼ってますけども、2 系統のエレベーターがあってわかりにくいところもあったりもします。セキュリティの関係もあったりして 3 階を入口にしていますので、それはご理解いただきながら、3 階で降りていただけるような案内図をもっとわかりやすく検討していけたらと。ちょっと調べたらそんなに複雑ではないようには案内が入っているとは思いますがね。その辺のところは気をつけてやっていきたいなと思っております。それから声を出してもいい図書館のお話ありましたけども、岐阜の図書館を見学に行ったときに、滞在型のすごく大きな図書館で、自由にバタバタと走り回ってる子とか、ハウスを占領して寝そべて本を読んでいる子とかいるんですけど、これいいんじゃないかなって。東京の方の図書館行くと、駅地下にあって自由な人が出入りするもんですから、そこでは飲み物も自由に持って入っている、そういった工夫もされているところがありました。これもなかなかいい。それが結局利用率に繋がったり、人と人が繋がっていく場所になると、図書館だけに来る人じゃなくて、そこを待ち合わせ場所にしたりとか、結果的に図書館利用が広がっていけばいいかなと思いました。そういったやり方もいいかもしれません。今江南図書館ではそういったスペースはありますか？

出席者① 軽食ぐらいはあります。おにぎりとか。

市長 ザワザワと話できるようなところ、読み聞かせはできますか？

出席者② お話広場のところは子供とお母さんが、お話し会がないときはそこで読み聞かせをされたりしていますね。

市長 ガヤガヤっていうのは、程度がありますけれども、今日はこういう催しがあるので、階段のところだけではなくて、ちょっとしたスペースで、ちょっと声出ますけどもすいませんぐらいのことは許されるような図書館を作って欲しいなって僕は思いますよね。静かさを求める方々については、そういうスペースもありますので、共存できるようなところがあるといいかなって思っております。図書館への足についてはたくさん語っていただきました。コミュニティバスの件については多くの方が要望を出されております。コミュニティバスは今過渡期に来ております。コミュニティバスやってるところも、もうやめたいって、江南のいこまい CAR 形式のデマンド方式をやっていききたいということで視察が来たりしてる。一方で、技術革新がどんどん入ってきて東京のタクシーはもう無人で走ってますよね。それから名古屋の大学の構内でも無人で走ってます。大阪の万博では空飛ぶタクシーなど出てきたりして、扶桑町ではコミバスを乗合型でね、電話でやったりとか、タクシーについても、電話で名前言えばさっと来てくれたりとか、随分変わってきてはいます。石枕にあった図書館を、北部の方には距離はあるかもしれませんが、布袋駅という急行が停まるところにもってこれたのは、もう大正解ではなかったかと。江南の方についてはなかなかそこまで場所がないということと、地権者の関係もあったりして難しかった。コミバスについては、最初に市議員になったもう 20 何年も前に、宮田地区で一番の交通の便が悪いつて言ってるところで区長さん方を呼んだときに、「今はいいけど、10 年先にはちょっと困るわな、今はまだ頼める人間がいるから今は必要ないよ」ということから始まったんです。それから 10 年経ったときに、おっしゃる通りに免許証返納ということ

はどんどんきました。それから、いこまい CAR も補助金大分使ってるんですね、4000 万とか。名鉄の路線バスについても、赤字のところについては大量のお金出してます。これも 6000 万とかですね。さらに、コミュニティバスを走らせるとなると、名鉄バスや鉄道以外のところを走らせないと営業妨害になってしまいますので、限られたところにしか走らせられなくなってしまいます。江南市の場合については、名鉄のバス、鉄道も走ってますから、申し訳ないけどそれを利用しながら、ぜひ図書館に来る人については、足を運んでいただけないかなっていうことは思ってます。自宅からバス停まで、また駅まで遠いという方については、他市でやってますけども、デマンドでタクシーを利用しながら安い金額で行けるところのバス停まで乗ってというようなやり方であったりとかね。それでもこのコミュニティバスの方が苦勞してますね。やっぱり人が乗らない。これが結果的に大赤字、そこへ働き方改革、コロナの影響で、運転手さんが全然足りないらしいですね。いこまい CAR も通常のタクシー利用者がいっぱいあるものですから、朝はなかなか予約ができにくいという状況になってきて、そういった中で本当にバスとか走らせられるかなっていうことも思ってますが、仮にそういったバスをやるとしたら、田舎に倣えて僕いつも思ってるんですけども、バスは走らせます。ただ 1 路線だけ。朝 2 便、夕方 2 便だけですよ。申し訳ないですけど病院行きたい人、買い物行きたい人、他の用事がある人についてはそれに合わせてくださいってことでね、バスを自分たちで購入して、難しい問題があります。二種免許とか保険の問題だとかね。今買い物については、移動スーパー走らせてますよね。また、交通会議をやってますので、北部中学校近辺のところで何とかやらないかと、今年度中に結論を出していきたいと思っておりますけどね。スクールバスとか企業バスについても、今までも福祉の方で遠足に行きたいときに車を借りたりしてますけれども、やはり会社との関係の中で、定期的に走らせるっていうのはなかなか難しいと聞いてます。なかなか全部お話できませんけども、低料金っていうことですね。だからいこまい CAR が低料金で走らせることができてもう少し利便性がいいような、翌日の予約ではなくて今日の予約もできればいいんですけど、なかなかタクシーの確保というものの難しくなっている状況で、新しい扶桑町の仕組みであったりとか、岩倉市さんもバス利用でやり始めましたけども、随分変遷があるようで、これは本当に永遠の悩みであり、高齢者の足の確保ということ、それから子供達の移動の手段ということもね。結果的にコストの問題であったりとか、どこに開設しても遠い人はできるんで、その解消は本当に難しくて、お金はかかるんだけど交通システムの中ではいこまい CAR が一番、まずはもう 1 回家庭を見直して、そうした子供達にも時間を一緒に共有する時間を取っていただくことも大切なことじゃないかなって私は思ってます。なかなかいい返事ができなかったですけども、今日、十分なお答えもできないこともあるし、今の私の答えに対して反論もおそらくあろうかと思っておりますけれども、大きな問題はやっぱりコミュニティ、コミュニケーションを大切にしたい。多世代、多文化交流とか、そうした英語を学ぶっていうのは子供のときの親子の会話が 1 つの大きなきっかけになり、図書館を利用する大きなきっかけになるということも、わかってまいりました。それにあたって、PR をもっとしっかりとしなきゃいけないなということも、今日のタウンミーティングの概要版をホームページに出しますので、そうしたことで目に留まればというふうに思っております。すいません、10 分も経過をしてしまい予定があった方もあるかもしれませんが、ありがとうございました。